



それがねエ、去年は端境期が来てもミ  
リヨの値が出ないし、銀行は、年間の利  
子だけでも大損という結果だったんで、  
今年はずを引いてしまった、  
その上国内消費の調査なしに輸出した  
というふうなことから、九コント代のも  
のが十コントにはね上ったというわけだ  
す

「何か割り切れんような気がしますな  
「フスマなども、飼料中では大切なもの  
ですが、近來のようには需要の増え方が激  
しいと品不足となり、いやでも値が上る  
、それと生牛が不足で冷凍肉輸入という  
ことになる、肉粉不足は必然で、これ  
もどんだん値上りの上、品不足です。  
その上養鶏家が事業を拡大し、養鶏が  
よんと会場満員押すな押すなどの盛況で  
は、もうコリマア経済アンバランスは必  
然ですわ」

「卵が安いだけなら冷凍、卵粉という魚  
の手もあるでしょうが、濃厚飼料の不足  
、コリーヨ攻勢となると、どういふこと  
になるんです、バストスよ、どこえ行く  
か」

「こりやもう悲劇ですね」  
「ところかですわ、他線や真地のことは  
知らないが、ここに一つの救の神があら  
われたんです」

「へえ？、耳よりな、どこの神様です  
「銀行なんですよ、飼料調整つてわけ  
でもあるまいが、鶏をもつて居れば、一  
羽を三コントと評価し、その半分貸して  
くれるんです」

「半歳据置き、あと半歳の間に月賦返還  
というわけです」  
「すると一万羽居れば三万コント、その  
半分の一万五千コントか、なる程、そ  
れがたや々々々」

「肉鶏にも一羽二コントの半分の割で出  
してくれろ」  
「ふいん、これはほんとの救の神だ、よ  
し、すぐみんなに知らせて来ます」

「おい、おい、どこえ行くんです、血相  
を覚えて、そんなことはみんななや  
んど知つて、いる、必要な人は利用して  
ますよ」

「知らぬはあんたばかりなり、……」  
「なんだ、人の悪い、そのことを先きに  
話してくれば、あつて居るのではなかつた  
、それにしても、よいタイミンでした  
ね、私も養鶏家がさぞ苦しかんべとひそ  
かに肝をねじつて居ましたか、割合に静  
穏な空気が、何かある、……とかんぐつ  
て居ました、が、さういふ救いの手があ  
れば、もう大丈夫です」

「ひとごとながら息をつきました。  
さあ頑張つて、難関突破だ、前進々々」  
糸音

### 帰化完了、選挙権

#### 取得者の方々へ

#### おしらせ

京野さんの世話で、昨年来帰化手続き  
を完了した方々はバストス内だけで二  
百人位あるそうです。  
その方たちにおしらせ致します。こ  
の州議員、国会議員、上院議員、の  
選挙（来る十一月十五日）に初めて選  
挙権の行使をされる方々よ。

これまで一度一堂に会して選挙に関  
する意見の交換を、したいと思つて居り  
ました。が、つい機会を得ませんでした。  
来る十一月九日（水）午後七時半、  
コチア組合階上に於て、新帰化入  
意見交換会を催します。つき、ど  
うそ一人でも多く御参集下さるよう  
御知らせ申し上げます。

各位 世話人一同

#### 作り替 小咄

#### お互いさま

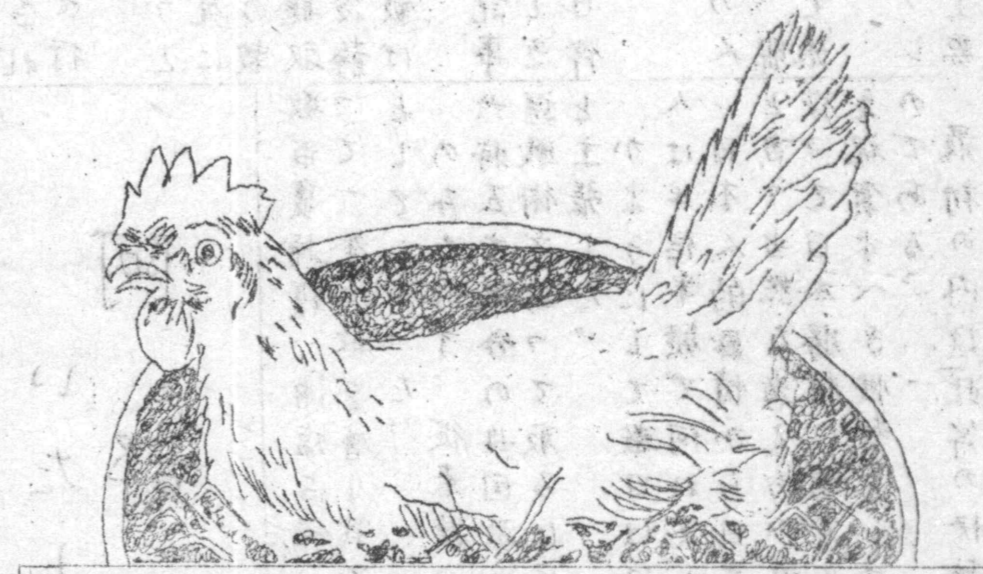
汚いドブのようなチエテ河に鯉が泳い  
ているのを見付けた伯人夫婦。  
「あ、不思議だね、あんなドブ川に  
と云えば、鯉川の中から人間を見上げ、  
「おんや、このスモツクの中に、まだ人  
間がいるんだねエ」

「年が改まれば、ミリーヨも状況が変るで

# Babcock

B-300

## 世界的經濟鶏



### BABCOCK'S

HEALTHY

### Chicks

TRADEMARK

寄稿

### 烟中さんの思い出 福瀧温

暴力を嫌はれる事は前回の項で書いたが、其の外の事には仲々度胸が良くなる。其の話を一つ。暴中さんは自分の仕事として多勢の若者を使つて棉作りをして居られた。此の若者達は烟中さんが外語出身で、スペイン語が達者故、其のスペイン語を教へて貰う積りで集つた人達だが、毎日仕事に追い使われて、言葉を習う時間など殆どなかつた。そのうち、或年の棉に一面のケリケレが発生して、大抵の畑が殆ど全滅で手の施し様もなく、皆んな手を探いで見て、許りでもなかつた。其の中で烟中さんは、ケリケレの奮り、何とかがして足を退治してやり度いもの、と苦心せられたが、唯一の虫剤として、は、当時は、此の薬を取り寄せて棉に振りかけた。いと、思つたが、未だ其の頃は噴霧機も充

分でない頃、烟中さんとしては一世代の智慧を絞つた。どうしたかと言つと、箱を作り、底板の代りに寒冷紗を張り、パン粉にベリデパリスを混合して、其の箱に入れ、皆に箱宛持たせて、棉の上から振り掛けさせた。腕を中すつて掛けるのだから、皆へと、粉が何と驚く勿れ、三十七袋、それを流して、嘆息して曰く、勿体ない。あれだけ、あ、勿体ない、何ヶ月食べられるか、のパン粉があれは、何ヶ月食べられるか、知れないのに、度胸の良さに感嘆久しうした。そうである。

(一) 移住地開拓実行案  
ブラ拓の四大移住地は、梅谷さんが来伯され、購入を決定されたが、其の移住地購入には全部烟中さんが、梅谷さんの手足となつて奔走された。由、経営方針に就いて論文を募集された。今、色々の人の案があつたので、あうが、山中、山崎、陽三氏の案も集めていたが、今

4  
たらしむ。これが烟中案の対抗馬として可成有力であり、移住組合聯合会で暫く比較検討されてきたが、結局、烟中案の方が実際のところ、と言うので採用が決定した。  
そのついでに立案者の烟中氏を起用して、實地に其の案を施行せしめたら良からうと言う事で、烟中さんのバストス赴任が決つたと言ふ事である。  
一九六六、九、三〇  
以上

小説

目屎齒屎 (勝ち負け物語り) 八

信念か狂信か (一)

糸音作

八月十五日母国ラジオが伝えたニ、トスは全日本人の血を一時に凝結せしめた古今未曾有の大凶報であった。  
日本全土は勿論、滿蒙の疆域から雲波、遼東なる南方地区、島々の果に至る迄、全日本人は其の日の母国ニ、トスを忍苦の務を果しつ、辛惨を勉める唯一の糧として、聞いて居た事である。  
在米同胞は言うもおろか、我が在伯邦人等が、嗚りつかんばかりに、聴取せるラジオボックスから、帝国政府は四ヶ国共同宣言を受諾するの止むなきに至れりと聞いた時、誰一人之を信じたものは無かつたであらう。  
停戦の詔勅を聞いても、恰も夢ではなにかと疑い急には決ま出ない有様であった。

晴天霹靂とは此の事である。或者は呆然となり、或者は嗚咽し、恐らく後頭部を強打された患者の如く、打ちのめされたまま悲報は次々に隔々迄ひろがって行つた事であらう。  
これから一体どうなるのであらうかと十五日のラジオ聴取者は、その後世死になつて、ラジオにかじりつき、受諾の報の誤りならん事を念いつつ、辛棒強く聴取を続けたのであるが、聞ゆるものは冷静なる現実の声、哀れ惨憺たる敗戦の報ばかりではないか。  
伯宇新聞はデカデカと日本降伏の記事で埋まり、デリ、其他の日本語放送も、戦前に聯合軍の全面勝利を報じ、九月二日停戦調印を予報するに至つた。

4  
然るに翌八月十六日には、既に一部の人々は日本寇の報をデマなりと唱え、聯合軍が敗戦を演う爲の偽装であると主張しはじめた。  
十七日には、日本大勝利の報導がラジオに、よらずして、傳り出したが、その主要なるものは、沖繩奪還、敵艦数百撃沈、破

養鶏研究会開催  
期日 十一月十二日  
午後八時 (夏時間)  
場所 コチア二階サロンの

内要 養鶏飼料とアミノ酸  
及びスライド

講師 酒井 獣一 匠

座談会

養鶏飼料と生産技術向上について

養鶏産業の重要ポイントを握る飼料についての一一般知識を深めるために、誰れにも解る様に説明します。  
一家そろつて御参加下さい。  
コチア組合員外、どなたも御出下さい。

おしらせ

ツバパンニス、スペルガス配給所よりバストス出張所を定める迄、

当分の間

スペルガス配給

いたします

阿部五郎

敵百隻捕獲、浦塩占領、重慶降伏等であつて、一挙に敵を屠り戦局を決定的なものとしてしまつた。  
のみならず、従来聴えしつ、ある毎朝六時五十分の母国放送は、敵側の虚傳放送戦術であつて、取るに足らぬものであると主張した。

かようにして、数日は経過したが、一般邦人は半信半疑で何れも信を置きがたく、日本人的感情から日本の勝利を信ず、と言ふ當然な考え方が、追々強くなり、従つて日本勝利に関する報導は次から次へ祝賀すべき快報として、持ち込まれたのである。  
最初の内は、此等の快報の出所について、相当論議された模様であるが、バスト

市説が有力であつた。特別装置のラジオが  
 マリリア某地には特別装置のラジオが  
 あり、敵側の如何なる妨碍をも越えて受  
 信するといふ、或はラジオに非ず、無線  
 電信受信装置ありて、記号的にキケマ  
 ナするものがあつたと云い、所在地も確実  
 であるが都合上公表されたいものといは  
 れるに至つた。

尚マリア説の外に昨日頃から在リオ  
 市、スイス公使館発表と稱するものは  
 スイス国が此度の大戦に於ける唯一の中  
 立国である爲め、日本の真実の姿は同所  
 の発表によつてのみ知り得るものとなし  
 相当有力な報導として傳つた模様である  
 。其の後日を遡ると、従つたスイス公使館  
 の公表又は出所不詳のもの、とりどり日  
 の報導を綜合して見ると、八月十三日  
 日本は陸海空共決戦にうつり、聯合  
 軍海軍を一挙に撃滅して大勝を博し、八  
 月十日の夜、北米並に聯合軍側の無  
 条件降伏によつて停戦に入り、敵將マ  
 カサは、調印の爲め九月二日東京に  
 招致される事になつたといふのである。  
 九月に入つてからは、バスター内ラジ  
 聴取者の中から二、三日、日本戦勝を裏書  
 するに足る快ニュースが今日も聞えた、明  
 才も聞えるといふ証明者が現はれ、ラジ  
 であつた。

其の内、主なるものは、十月中旬には  
 日本より各国に使節が派遣せられ、伯  
 えは有田八郎氏を主班とする一行が特派  
 される事、及び、軍艦数隻、兵員二千余  
 名進駐する等詳細報導された。

府発表、大本營発表等の有書のある事勿  
 論である。

以上順序として、日本勝利の報導の概  
 略を記述したが、これ等のニュースをその  
 まま鵜呑みにして満足してゐるのが一般  
 同胞の大部分であるかの様に思う。且  
 日本人として祖國の戦勝を祈願し、それ  
 フの快報が無批判に流れてゐるから、それ  
 信ぜられるのも當然である。そのまほ  
 章、掲揚運動、戦勝祝賀會發起となり、日  
 多、少識者の贊成を蒙り、熱烈な態度とな  
 つて表はれて来た向きもあつたやうであ  
 る。

抑制をばねのけ、信念の域を超え、戦勝気分  
 果、少しでも快報に對して疑いを感じ、結  
 さむ様な人物がある、直ちに非国民呼ば  
 をしたり、時には暴力を以て非国民を制

農家必読

雇人、注意

Relação entre empregado e patrão

近頃農家使用人が解雇されたのち、  
 元の雇主を裁判所に訴えて出るこ  
 が多くなり、常時問題が起きて困り  
 ます

○どんな訴訟を起すかといふと

1. 給料の差額請求
2. 十三ヶ月分給料未払請求
3. フエリアス(年間何日かの休日) 給  
典請求
4. 時間外手当請求
5. その他養鶏家の場合は、インプレ  
カドの家族、妻、娘等が手伝人  
として働く十六才以上は一日  
大人同様を支払わねばならぬこ  
とになつてゐる。一日二、三  
時間働いて一日分も請求する  
退職金の要求(一年以上 支払  
らねばならぬ)
6. 突然解雇されたこと(ほんとう  
は一ヶ月前に言わたすべきだ)  
といつたような些事ではあるが  
仕事にあづかれた彼等が町に出  
てグラブラしてゐる内誰かに智  
恵を付けられるのである。
7. ては、どうすればよいのか?

○

1. 一番妥当なのは最初パトロンと使  
用人との契約書を作製し、双方  
給與の場合には必ずレシポに署名  
させること、レシポがないと相  
手側から訴訟された時、こちら  
が不利となる。
2. 前項(5)の場合のために、リーブ  
口デポイントを備え、就労時間を  
記入し、本人に署名させておく。

○

3. 注意  
いかなる金でも、金を支払らつた時は  
其の都度レシポをとつておく必要があ  
る。
4. 右のようないふ急ると、後日ゴタゴ  
タのもととなるから、手をはぶく事な  
く、きちんとしておくこと。
5. 訴訟にまけると二回払いとなり大損を  
します。

○

次回には実例を示しましょう。  
 (弁護士 パウロ 小林)

裁するが如き事件も起つたのである。  
 我々日本人が祖國を信じ、その国力と戦力を  
 信じ、當て外國の侮を受けざる誇を持って居るが  
 故に、日本に降伏あることなし、死か勝利か、その  
 一途あるのみと確信するは国民性の然らしむ  
 る所、当然といわなければなるまい。

裁するが如き事件も起つたのである。  
 我々日本人が祖國を信じ、その国力と戦力を  
 信じ、當て外國の侮を受けざる誇を持って居るが  
 故に、日本に降伏あることなし、死か勝利か、その  
 一途あるのみと確信するは国民性の然らしむ  
 る所、当然といわなければなるまい。

且つ又、耳目を蔽はれて、遠隔の地に在りて、真相を掴み難い所へ、多少頑固に、なつて、真の心の中に、戦勝日本の姿を、書き、念に達して、いる事、も、当然である。う、この、大戦を、予想、し、て、国民精神、総動員、に、関する、あ、ら、ゆる、不、二、方、策、手、段、が、行、は、れ、軍、は、即、ち、国民、也、の、不、植、え、つ、ける、の、に、大、体、成、功、し、て、い、た、事、を、物、語、つ、て、い、る、の、に、と、見、て、よ、い、で、あ、る、う、日、本、人、の、信、仰、の、城、郭、が、出、発、し、た、信、念、の、上、に、築、か、れ、た、一、の、信、仰、的、所、産、で、あ、り、最、正、な、意、味、か、ら、言、超、越、し、た、も、の、と、言、う、べ、き、で、あ、る、。、自、説、主、張、の、為、め、に、は、一、切、の、他、説、を、排、撃、す、る、に、至、り、日、本、語、海、外、放、送、の、一、切、を、否、定、し、伯、字、新、聞、の、一、切、を、否、定、し、先、ず、自、ら、の、耳、と、目、を、蔽、い、非、現、実、的、出、所、不、明、の、快、報、の、み、を、信、頼、す、る、と、い、う、奇、現、象、を、望、す、る、事、も、亦、止、む、を、得、な、い、行、き、懸、り、で、あ、り、そ、れ、は、信、念、を、し、て、益、々、強、固、な、ら、し、め、る、上、に、大、い、に、役、立、つ、に、至、つ、た、が、一、狂、信、的、傾、向、を、助、成、し、た、事、も、否、ま、れ、め、何、で、あ、る、う、か、簡、単、に、言、一、体、信、念、と、は、何、で、あ、る、う、か、簡、単、に、言、す、と、言、う、な、ら、ぬ、で、あ、る、。、吾、れ、は、斯、く、信、

これ故宗教心に非らざる限り、自己の信念を主張する以上、それぞれ根拠又は根底の上に立脚したものでなければならぬ。然らば戦勝の信念は如何なる根底の上に立脚してゐるのであるか。萬世一系の天皇を奉戴する日本の二千六百年の歴史は降伏のなかつた事。皇軍は最後の兵まで戦うのが一貫せる傳統の精神にして、戦い敗るとも降伏など絶対にあり得ない事。日本海軍は無疵のまま一千余隻を保持して微動だにしない事。皇軍五百萬、本土、満州、支那、南洋各地に待機又は奮戦して各方面とも敵を圧倒してゐる現状なる事。北米は国内的に倒壊の兆歴然たるものある事。ソ聯の動向の如きは満州軍と関東軍の堅持により鎖袖一觸にも値せぬ事。右の如く祖国日本が聯合軍の手に敗れる如何なる間隙も理由もない態勢にあるところより出發せる信仰である。

以下次号



Tempero de Alta Qualidade 99.9%  
Glutamato de monosodio 99.9%

**SUPERAGI**

聖市ルア・ガルボンブエーノ街二二番七階  
遠藤貿易株式会社

全国のそば・うどん  
東京「一房」  
池袋「一房」

スーパー味はどこの店にもありません  
冷したつ中にスーパー味で食欲満点  
麺類のうまい時季になりました

店の奥のほうで、おやじさんが静かに長い麺棒で、そばを伸ばし、たたくて包丁でサクリサクリと切つてゐる。おかみさんがそばを包丁で取り熱湯でゆでて、水でザアザアとさらす。そばが私の前に出てきた。うまい。私の注文したのには、おろしそば（百二十円）である。おろしそばは辛いのかさがる。この店は、この信州風のそばのほかに、出雲、岩手、石見、福井その他の、徳島の山奥の「たけ」を作らう。変わったところでは、一人前四百円で二人前以上でないと受けない。うどん、一人前四百円から三百円どまり。



映画怪談の鑑賞価値

△「君、怪談のシネマを見たか、僕は新聞や雑誌の広告を見て、相当面白い映画だ、早くと期待して観に行つたんだが、一体何処か良いのか一寸僕には判らないで、君に説明して貰うに来たんだよ。耳無し芳一とか黒髪、雪女はだいたい判かるんだが、茶碗の中は、どうも解らんね、何かい、あの茶碗の中に映つて、た人はあの侍に殺されたかどうかして、怨みをはらしに来たのかい、筋書だと思ふが、あのシネマの何処に三億何千万という金がかつたのか僕には合点かいかんね」

○「そうだね、筋書が面白いとは言えないね、又茶碗の中は一寸判らない人が多いのも事実だと思ふね。あれは、茶碗の中に浮んでゐる人の魂を飲んだために、魂の無くなつた人の家臣が仇討に来たのさ、とところが、この仇討に来た家臣も実は人間ではなく、魂だけだつたんだよ、その魂も侍は斬つてしまつた、その筋書をどう書うかと考へて、中から出て来た、という子供だましの様な話の映画化だよ」

△「へエ、そんならその亡霊が、その作家に崇りに来たのだらうか？」

○「いや、そこまで書いてない。読者に想像させるところが原作者のねらいだらう、と言えぬね」

△「あのシネマには、魂だけの人間や、亡霊、雪女の、うな妖怪が、沢山出るが、お化には影がない。あのシネマを見ても気がつかないか、亡霊には影がないが、人間だけに影があつて、あ、あ、あ、影がない不気味な写真は、屋外では撮れないから、建物の中で照明を充分に使わなければならぬのだよ」

△「それによ、ストマンコロリドのASA六十四といふ感度のフィルムをレンズの絞りを八位の被寫深度を得るために必要に照明を用いないとあれだけの色彩効果は出ないから、どうしても室内撮影となる」

△「そうなる」と建物の中に海も山も造らねばならぬし、雪や雨も降らす、寺も建て、御殿も造る、海には舟も浮かべなければならぬし、そんならあの雪景色も室内撮影か、

○「そうだよ、向うの空に雪女が出るし、

MOBILIARIA YAEGASHI

FUNILARIA YONEKAWA RUA DOQUE DE CAXIAS Nº540

御待ちかねの  
**エスポンジ** 細断したもの  
 到着いたしました  
**モフアタ** 枕  
**手芸用** にどうぞ  
 日本柄 フトンがわ  
 テトロソ・ナイロン  
 及 普通 綿  
 家具調度一切  
**八重樫家具店**

まいど御引立にあずかり、ありがとうございます。  
 このたび「電コ」製品一切取扱ひ並びに修理もいたします故御利用の程御願ひ申上げます  
**デンコ**  
 製衣品一切取扱い  
 並に修理  
**ブリキ細工**  
 製作並に修理  
**米川鋳力店**  
 ドフキデカシマス街 五〇四

らせの目玉形の雲も、壇の涌の合戦の場  
 面でも血の色のうな雲が流れていたが  
 背景の絵なんだよ、雪も全部人工さ。し  
 かし室内撮影は何年か前に榎山節考とい  
 うシネマが来たが、あれも規模は小さい  
 がやはり室内撮影だったんだよ。あ  
 りが、どうしてもリールになった。あ  
 んな幻想的雰囲気は出せないからね。あ  
 何と書いても平安後期の豪華絢爛たる風  
 位の描写にあらざるう。」  
 △「ならほい、それいや金のかかるのも無  
 理はないね」  
 ○「そうなんだよ、それと俳優陣も東宝の  
 専属だけでなく、各社の主役俳優と歌舞  
 伎界の立役者まで網羅した事も異例と云  
 うべきだろう。」  
 こゝまですいぶん褒めてきたが、演技  
 根柢は全体的にぶろく毀したね、  
 新珠三十代の扮した亡霊の淋しそうな  
 微笑は見物人の血まで冷やすような名演  
 伎の後だったから、特別自立して下手尿  
 ぶりに嫌気がさしたよ。  
 仲代達矢か芸のうまさと対比するから  
 尚更岸のまささ加減がはがゆくてならな  
 いね。  
 自分が生んだ子供との別れにも何の感  
 動も現れねえし、悲しい亭主との別れ  
 の悲哀も怒り半端でさ。げりなってる  
 い、あれは監督が俳優選考上の大失敗と  
 思うね。  
 字幕に音楽を入れてない試みは良か  
 たね、音楽が入ってないから琵琶の音  
 色を引き立つ役目を果してゐるのだらう。  
 とにかく吉永小百合とか浜田光男、小  
 林旭、美空ひばりなどのマクシオン映画  
 は面白いが、芸術的価値はまず皆無だろ  
 う。  
 しかし、いくら勝れた色彩芸術映画も  
 日数が経過すると退色は現在の処免かれ  
 ないから、早く疵の少ない肉に見たいも  
 のだが、東宝配給頃に廻つて来るのでは  
 来年の何時頃になるか知れない。信  
 太さんの骨折りでフイルムの新しい開  
 鑑賞することが出来たことは実際ありが  
 いと感謝するよ。  
 △「君の話はたいぶんむつかしくて良  
 らい、その芸術というのを芸とは違  
 っているのかい」  
 ○「そうなんだよ、芸を基本の勉強して  
 から現在の一般技術の水準を抜いた時  
 ばじめて芸術性のみとめられるのだが、  
 これは必ず成巧すると言ふものではな  
 いら、こう云う試みは非常に危険な仕事だ  
 今度の怪談全世界映画界の水準以上の成  
 巧だと思ふんだよ」

**FABRICA — GRANITO**  
**CONSERTA — SE TUMURO**  
**AV. RIO BRANCO 90 ADAMANTINA**  
 FONE 515 C.R. 23

日本式  
 ブリシル式  
 墓 碑 記念碑  
 胸 像 石 燈籠  
 石 臼 石材彫刻切  
 古い墓もコンセルタ致しませ  
 アダマンチーナ市郵函二三  
 マネーダリアブランコ  
**大西石碑工場**  
 大西文吉 電話五二五

**FOTO COMETA**

色調  
 上品なフォト  
 豊富な  
 テレール  
**フォトコメッタ**  
 島本電話六三三郵函三五



バストス警察署御指定領書用フォトは  
 些雑にて

御しらせ  
 マンガ接木 くだもの一切  
 アスナ口 モミジ ヒーラギ  
 ナマボヒバ 鑑賞樹 いろいそ  
 つつじ変種 つばき 花 類  
 (八重・二重)  
 ルア・ドツキデ カシマス 五二四(村上)方  
 へ移転いたしました  
**木林**  
 電話 二九

**年賀広告**  
 来年(一九六七年)新年号  
**年賀広告**  
 十二月十五日までに  
 御申込下さい  
**バストス週報社**



十一月八日(火) 九時(水) 九時  
日活 拳銃残酷物語 宍戸 柘原智恵子 川地 小高

十一月廿一日(日) 廿一日 (月)に代りました  
東宝 今日もわれ大空にあり 佐藤 藤 充 稲垣 隆  
天然色 P140全機出動! 警異のスピードで描く迫力と感動 星由利子 当銀長太郎  
十一月十三日(日) 十四日(月) 三橋達也 夏木 陽介

東映 網走番外地 高倉 建 南原 宏治 丹波哲計  
待田京介 嵐寛十郎  
どうせ死ぬなら婆婆に死ぬ 魔の白銀を蹴散らす狼二匹 脱獄二十四時間惨劇

十月十一日(金) 九時 十二日(土) 十時半  
松竹 君も出世ができる フランキ堺 雪村いづみ  
天然色 宮島忠夫 中尾美恵

十一月十五日(火) 十六日(水) 両夜とも 九時  
日活 黒いダイヤが俺を呼ぶ 小林旭 和田浩治  
男が誓を破るだけは男の意地だためと云う マイトガイ、アキラの怒が爆発する 笹森礼子

十一月十八日(金) 二十時 十九日(土) 二十一時半  
東宝 僕たちの失敗 市川 染五郎 栗野みゆき 伊藤雄之助  
愛より自由より家が欲しい 二天二妻制の別居結婚これ僕らの憲法なんだ

十一月二十五日(金) 二十時 二十六日(土) 二十一時半  
東宝 乱れる 高峰 秀子 白川由美 草島 光子  
如山 雄三 浜三枝 三益 愛子  
愛するものの限りなき裏情! 誰がために思ふ激情の火よ

# AVISO DE CINE BASTOS

## あちららの話 (羊たちが集団自殺)

ドーデの名作「風車小屋だより」その  
珍事——羊飼いのバルマ君は、そのあた  
り一帯の大牧場主ベルモンドさんの羊二  
千五百頭を預かって標高千四のトビエ  
ル峠で羊たちに夏草を食わせていた。  
ある朝、目ざめたら羊の大群がどこに  
も見えない。あわてて山中を駆けずり回  
った末、夜営したところから一匹ほど離  
れた所でうずくまる羊たちをみつけた。  
マレマレと思つて数えてみたら千四百  
五十頭しかいない。真青になつたバルマ  
君、いくらかさげさげと出てこないと、  
残りの羊マレマレと、ひよつとが下を  
みたら、百五十頭下に羊たちのむれなす  
死体のママ。  
オオカミに食われたのならともかく、  
これは一体どうしたことだろうと、愚案  
投げ首。  
結局、夜のもの怪におじて、集団自  
殺したのではないかと、いうわけ。  
こんな前代未聞の事故で、ベルモンド  
さんは保険もとれず、二十一万フラン(一  
千四百七十万円)がフイ。  
裁判でネズミが有罪  
このほどイタリヤ北部のグロレンツァ

村で、オトギ話のような法律の古文書が  
見つかった。

時代は十六世紀の初で、ネズミを被告  
とする裁判の記録だ。  
この古文書によると、裁判は一五一九  
年十月二十六日、ステルビオ村で開廷さ  
れ、冬はネズミの冬ごもりとあつて休廷  
したが、春になつてシモン・フリエス判事  
が収獲物荒しなどの容疑全部について有  
罪を判決し、ネズミたちは村から立退き  
を言い渡された。  
しかし、判事は弁護人の熱心な弁護に  
ほだされ(被告ネズミは出廷せず)(1)ネ  
ズミが逃げているときは人間はこれを傷  
つけてはならない(2)子ネズミ、年老いた  
ネズミ、体の弱いネズミは村におくこと  
(3)ネズミがおぼれないよう村の近くの川  
には小さな橋をかけることなど、温情あ  
る措置をとつたことになっている。

## ミニ落語

### 敬して

「日本には恐妻という言葉があるが、私  
は尊妻だと、ライシマワいさんが言うた  
「フム、して、おぬしはどなただ  
「おれは、恐妻でも尊妻でもない、敬妻  
じや」  
「はて、それほどに、うやまつてゐるの  
「イマ、つまり、遠ざけてゐるのさ」

栄子弟

河野

延

雄

(サンパワロ)

妹

寺

洋

子

夫

全

滋

子

妹

寺

世

明

夫

根

子

子

バンデイランテ組合聖市本部

御中

バンデイランテ組バースト出張所

御中

バンデイランテ組合従業員一同

各位

バンデイランテ組合員一同

各位

水馬

様

フラタク製糸株式会社

御中

バースト中央区第四組

御中

バースト山口果人會

御中

バンデイランテ婦人會

御中

バンタイランテ区生徒一同

各位

バースト佛教婦人會

様

仙 人 掌

様

バースト草青年野球部

各位

連合佛教婦人會

様

日語学校生徒一同

各位

日語学校昼組生徒

各位

日語学校父兄會

御中

バースト日語普及會

御中

バースト高等商業二年生

各位

サンジョセ中学学生会

御中

州立中学一九六四年卒業生

各位

サンジョセ中学三年及四年生

各位

バースト生徒花同好會

様

HOMENAGE POSTURA

バースト御在任各

位

死亡通知並に会葬御礼

夫、勲儀(行年五十一歳)かねて病氣療養中の処、急変致し去る十一月二日午後十一時オズワルドス病院に於て長逝いたしました。依つて三日拂曉遺骸を自宅に迎へ、午後六時出棺バストス墓地に埋葬いたしました。故人静養中は皆様より御配慮賜わり御手厚き御見舞を受け誠にありがとうございました。

茲に謹んで御礼を申し上げ、右お知らせ申上げます。尚、葬送にあたりましては炎暑、御多忙中、遠路わざわざ御会葬賜わり、且つ又御丁重なる御香料花輪など御手向下され御芳志の段重ねて御礼申上げます。

一々拝趨御礼申上げねはなりません。何分取込中のこととて御許しをねがい、畧儀誠に失礼とは存じますが、紙土を以つて取敢えず御礼申述べさせていただきます。

一九六六年 十一月四日

バストス中央区 第四組

妻(喪主) 柳 屋

栄 子

長女 柳 屋

寿 和 子

長男 全

和 明

次男 全

義 治

母 柳 屋

と

次弟 柳 屋

太 (ツパン)

三弟 全

梅 次 (マリリア)

四弟 全

正 吾 (マリリア)

五弟 全

マリオ (オロフランコ)

姉 市 村

ふ さ え (マルケノホリス)

夫 全

千 春

妹 平 田

き さ 子 (ルキヨノホリス)

夫 全

武 久

妹 河 内

み つ 子 (サンパウロ)

栄子母 河 野

し け の (サンパウロ)